

教科名	国語	科目名	現代の国語	学年	1年	単位数	2
教科書	高等学校現代の国語 (数研出版)		副教材	「高等学校現代の国語準拠ワーク」 「実践文字カトリプルチェック」「国語辞典」			

## 1 科目の目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力や共感力、想像力、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指す。また、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 学習について

## ① 予習・復習の仕方

予習：本文を読み、語句調べをし、主旨をつかもうとする。

復習：授業で習った箇所の教科書を読み返す。その際、重要事項等ノートに書きこんで、授業内容を確認する。

## ② 授業における学習方法

積極的に理解に努める姿勢で向かい、授業者の問いかけに対し自らの考えをまとめ、ノートに軌跡を残す。復習の際に書き込めるノート作りに心掛ける。

## ③ 家庭学習のポイント

【全員】宿題は、出された当日に必ず自分の力です。漢字テストは範囲内を繰り返し練習して準備する。

【Aクラス】スタディサプリを積極的に活用する。模試の復習を行う。

【Bクラス】準拠ワークに取り組み、授業の復習を行う。

## 3 学習計画

考查		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	・対比の構造	・文化を比較して述べる方法を学び、国際感覚を養う。「書くこと」
	中間	・一般論と主張	・「わらしべ長者」の言語から経済学の基本原則を読み取る。「読むこと」
	前期	・論理とレトリック	・レトリックの役割を学び、レトリックを用いた論理を話す。「話すこと・聞くこと」
	期末	・具体と抽象	・SDGsと関連付け、理解を深める。「読むこと」
後期	後期	・比較する	・比べ読みを通して、思考を深める。「読むこと」
	中間	・視野を広げる	・SDGsと関連づけて、命について考える。「書くこと」
	学年 末	・思考を深める ・実用の文章	・近代と時間の関係について考え、人生観を深める。「読むこと」 ・SDGsに関連づけた課題と解決策を考え、プレゼンする。「話すこと・聞くこと」

## 4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。

## 5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考查・課題考查・授業内小テストの成績、単元ごとや宿題などの課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…60% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…10%